

平成 27(2015)年度 事業報告書

「はぐくんでみらいへ」をテーマに、次代を担うころ豊かな青少年をはぐくむため、豊かな人間関係づくりをめざすHRT(ヒューマン・リレーション・トレーニング)プログラムや「生きる力」を育む自然体験活動、また、現代青少年の抱える課題解決に向けた自立支援事業など、社会のニーズに応える公益性の高い事業に取り組みました。

実施にあたっては「一人ひとりの青少年が尊重されること」を基本にし、青少年の主体的な参画と成長を願って取り組みを進めました。

I 公益目的事業

公益目的財産額	平成 27(2015)年度支出額	公益目的財産残額
254,455,826 円	9,314,118 円	210,527,720 円

No.	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用者数 26 名 在籍者数 61 名(m10、f51)
2	公開講座	7月 10月 12月 2月	(公財)関西テレビ青少年 育成事業団 大阪府キャンプ協会 他	青少年の理解Ⅰ 青少年の理解Ⅱ リスクマネジメントセミナー 野外活動ミーティング
3	「シーカヤックチャレンジ」	実施 9月	大阪府立 青少年海洋センター	障がい者力ヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 6月 実施 8月	(公財)関西テレビ青少年 育成事業団 NPO法人アサヒキャンプ	自閉症の子どもキャンプ
5	「ゆうゆうキャンプ」	8月 10月 2月	(公財)毎日新聞大阪 社会事業団	家庭児童相談室に來所する 児童生徒の体験活動

(資料編P10 参照)

「東日本大震災 復興支援プラン」協力

大阪府政策企画部 危機管理室 地域支援グループと連携し、被災地から大阪に避難されている小・中学生7名を自然体験事業(2事業)に招待しました。

II NOS/HRTプロジェクト事業

	年間事業数	参加者数	事業収益
計画	210 事業	19,800 人	103,000,000 円
実績	79 事業	13,411 人	84,562,340 円
※別途、育成事業部の講師派遣事業として 112 事業を実施			6,545,828 円

1. NOS/HRT(ヒューマン・リレーション・トレーニング)プロジェクト推進事業

教育現場やスポーツ分野、企業などとの連携を深め、利用目的に添ってNOS/HRTプログラムの提供を行い、青少年のコミュニケーション能力向上への支援を行いました。運営にあたっては、育成事業部との協働を推進するとともに、OJTによる指導人材に取り組み、運営体制の整備に努めました。

2. 野外活動指導者の育成

機関連携での野外活動指導者資格認定講習会は、1事業5名(延べ20名)を実施しました。大学、専門学校等からの資格取得講習を併用した事業受託は、11校・221名の指導にあたりました。

Ⅲ 自然体験事業

	年間事業数	参加者数	事業収益
計画	68事業	3,342人	63,210,000円
実績	61事業	2,126人	48,748,991円

(資料編P11～12参照)

1. 募集型企画事業の実施

- (1)心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供しました。
- (2)四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドで実施いたしました。
- (3)様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会を下記のとおり提供しました。
 - ①幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験の機会提供
 - ②小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動の機会提供
 - ③小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自己への気付きを育む体験活動の機会提供
 - ④ファミリーには、家族内や家族間の交流を促進する活動機会の提供
 - ⑤各年齢層に応じたスキルアップとチャレンジ精神を養う機会の提供
- (4)最少催行人員に満たないコースについては、止むなく中止しました。今後も引き続き参加者ニーズを調査し、プログラム内容を精査し、新しい事業の開発に取り組んでまいります。

2. 機関連携事業

下記の通り、関係機関・団体との連携事業、また講師派遣事業に取り組みました。

- (1)堺市青少年自然体験学習推進事業(公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団共催事業)
- (2)被災者支援交流プロジェクト in さかい(堺市教育委員会)
- (3)大阪府立少年自然の家主催事業(青少年活動リーダー派遣)
- (4)講師派遣事業
 - ①関係機関や教育委員会などからの依頼に基づき研修講師として財団職員を派遣しました。
10事業 655,348円
 - ②NOS/HRTとして学校などに財団職員を派遣し、クラスづくりの支援などを進めました。
112事業 6,545,828円

IV 施設運営

1. 自主施設=吉野宮滝野外学校=の運営

使用賃貸期間(H22.4～H32.3)の6年目。

	年間運営経費	事業収益	年間利用人数
計画	48,216,000 円	27,781,000 円	20,000 人
実績	47,510,222 円	22,673,880 円	16,672 人

① 運営について

通年にわたって、NOS/HRTプロジェクト事業の受け入れと、四季折々の地域特性を活かした主催事業を行いました。

業務の適正化とコンプライアンスの徹底に取り組み、受け入れの調整や整備日の設定で過密勤務の緩和等、働きやすい職場環境の整備に努めた為、利用者数は前年度を下回りました。

地域連携として、町内の小・中学校、吉野郡特別支援研究会等の利用対応、また、地元地区の「体育祭」「夏祭り」「神社祭礼」への協力や、「踊り保存会」との合同事業なども実施しました。

② 広報について

ホームページのリニューアルを行い、フェイスブックを新たに立ち上げました。

「吉野町広報」に野外学校周辺の自然を紹介する記事を掲載しました。

③ 施設の改善・環境整備について

キュービクル式高圧受電設備の部品交換、小荷物専用昇降機の主ワイヤーの交換を吉野町予算で実施しました。

2. 指定管理・共同指定管理施設の運営

(1) 箕面市立青少年教学の森野外活動センター (第2期指定管理(H23.4～H33.3)の5年目)

	箕面市委託料	事業収益	年間利用人数
計画	39,013,000 円	10,475,000 円	20,000 人
実績	39,013,714 円	10,903,063 円	22,222 人

① 運営概況

事業収益、年間利用者数ともに計画を大きく上回り、開設以来最高の実績を記録しました。

② 施設整備

野外テーブルやイス、テント台の補修、危険木及び立ち枯れした松の伐採撤去など設備や自然環境面の補修・改善に取り組むとともに、炊さん用具および常設テントの更新を行い、安心かつ快適にご利用いただける施設環境の整備に取り組みました。

③ 事業の企画提案・実施

「集客 UP＝収入 UP＋施設の広報＆周知」を旗印に、「参加しやすい事業」を実施し、事業収益の増加に繋がりました。

・気軽に参加いただける1泊2日コースも含めたファミリーキャンプの実施

- ・ワンコイン(500円)以下で参加できる日帰り自然体験事業の実施、継続
「落ち葉のプールをつくろう」「どんぐりで遊ぼう」
「大きなたき火をしよう」「日帰りキャンプファイヤー」など
- ・日帰り事業参加者に対する宿泊事業の広報
- ・幼児キャンプを充実化し、小学生キャンプへの参加に繋がる導入事業として展開しました。

④利用促進

学校団体誘致のための広報資料(利用の手引)を作成し、近隣の中学校、高等学校計60校に送付しました。

またフェイスブック公式ページを運用することでリアルタイムな情報発信を行うことができるようになり、特に実施中の事業の実況記事や事業の広報、施設のキャンセル情報などに対しては反響が大きく、リピーターの確保に大きな効果を生みだしています。

⑤キャンプカウンセラーの育成及び指導

年間育成計画に基づき施設利用者への対応に必要な技術及び理論研修を行いました。

- ・採用者数 27名 在籍者数 51名(男子 15名・女子 36名)
- ・募集にあたっては箕面市とも連携し近隣大学や高等学校への広報に努め、また「高校生のカウンセラー体験キャンプ」を実施しました。

⑥施設主催事業・箕面市主催事業一覧(資料編P13~14 参照)

(2)東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」(第3期指定管理(H24.4~H29.3)の4年目)

	東大阪市委託料	事業収益	年間利用人数
計画	43,173,000円	10,878,000円	11,000人
実績	43,173,000円	7,950,262円	11,552人

①平成27年度利用・運営概況について

宿泊者数が昨年度実績より18%増となったこともあり、年間利用者数は当初計画を上回ることができました。ホームページを改善した結果、ホームページを閲覧しての申込みや問合せが大半を占め、直前の申し込みによる他地域からの利用者が増えました。

自然環境においてはコナラを枯れさせるカシノナガキクイムシの侵入が広がり、数十本の被害が確認されましたが、2月に枯れマツの伐採と併せて、伐採作業を実施しました。

②事業の企画提案・実施

人気の高い事業は昨年度に引き続き実施しました。年間を通した全事業の集客率は62%で、事業収益は当初計画に届きませんでした。今後も新しい事業の検討も含め、参加者ニーズにあったプログラム提供に努力を続けていきます。

③広報の充実

ホームページの充実については、スタッフブログとFacebookを随時更新しました。

7月に東大阪市ケーブルTVの取材があり、センター紹介の映像が放映されました。

④キャンプリーダーの育成と活動促進の継続

年間育成計画に基づき野外活動リーダーとして必要な技術及び理論研修を行いました。

・採用者数 19 名 在籍者数 51 名(男子 13 名・女子 38 名)

⑤施設主催事業・東大阪市主催事業一覧(資料編P14～15 参照)

(3)大阪府立少年自然の家 (第2期共同指定管理(H23.4～H28.3)の最終年度)

共同指定管理者として次のような取り組みを進め、施設の管理運営の一翼を担いました。

	年間利用人数
計画	100,000 人
実績	99,721 人

①施設運営の安定化

大阪府、大阪府教育委員会との連携を深め次のような取り組みを進めました。

- ・図書館や公民館、商工会議所へのチラシ配架
- ・小中学校校長会での広報機会の参加
- ・教育コミュニティ・ボランティア研修会への利用促進チラシ配架

②委託事業の実施

大阪府からの委託を受けた事業について次のような取り組みを進めました。

- ・8月 小学生を対象とした自然体験キャンプ 6泊7日、参加者23人
 - ・10月、3月 知的障がいのある幼児・児童・生徒とその保護者・家族を対象とした乗馬体験(コミュニケーション・訓練法)を含む事業 日帰り2日、参加者88人
 - ・11月 自然と絵本のコラボレーション事業 1泊2日、参加者15人
- また、各団体との連携による事業の実施をしました。
- ・11月 教志セミナー事業への協力(主催 大阪府教育センター)
 - ・11月 アドプトフォレスト事業への協力(主催 大阪府泉州農と緑の総合事務所)
 - ・8月 近隣大学インターン学生の就労、キャンプ体験実習の受入れ
大阪体育大学より5人受け入れました。

③学校への利用促進、誘致活動について次のような取り組みを進めました。

- ・大阪府内の学校訪問に代わり利用案内を送付することとしました。
- ・秋冬季の利用促進 9月63団体に対し利用案内を送付
- ・他府県学校団体誘致のため総合体育館(和歌山市)に対し利用案内を送付

④施設環境改善へ次のような取り組みを行いました。

- ・各施設点検の実施、委託業務の府教委に対する報告確認
- ・施設利用者の安全確保のための研修、3月普通救命講習

・施設什器備品の更新

<共同指定管理者>

公益財団法人大阪ユースホステル協会

(4)大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

(第2期共同指定管理(H23.4~H28.3)の5年目)

①青少年センター機能の充実に取り組みました。

- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点としての運用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ開架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進
- ・青少年関係団体研修会場としての利用促進

<共同指定管理者>

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

三菱ビルテクノサービス株式会社関西支社

特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会

V 法人運営

1. 理事会

- (1)第1回定時理事会 平成 27(2015)年 6 月 3 日
平成 26(2014)年度事業報告及び収支決算等
就業規則の一部改正
顧問選任
任期満了に伴う役員及び評議員の候補者
- (2)第2回理事会 平成 27(2015)年 6 月 24 日
代表理事(理事長・専務)の選任
事務局長の選任
- (3)第3回定時理事会 平成 28(2016)年 3 月 11 日
次期中期計画の策定
平成 28(2016)年度事業計画及び収支予算等
諸規程の一部改正
顧問の選任
定時評議員会の開催並びに決議事項等

2. 評議員会

- (1)第1回定時評議員会 平成 27(2015)年 6 月 24 日
平成 26(2014)年度事業報告及び収支決算等の承認
就業規則の一部改正の承認
理事・監事の選任

評議員の選任

(2)第2回定時評議員会 平成 28(2016)年 3 月 11 日

次期中期計画の承認

平成 28(2016)年度事業計画及び収支予算等の承認

諸規程の一部改正の承認

理事の選任

3. その他

- (1)危機管理やコンプライアンスに対する意識を高め、法人のリスクマネジメント能力を強化し、安心・安全な事業運営と活動の場の提供に努めました。
- (2)マイナンバー導入に伴い、特定個人情報・雇用管理情報の管理規程を定め、取扱いマニュアルを作成するなど、個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底に努めました。
- (3)ホームページをスマートフォン対応版に変更し、情報発信力を高めました。
- (4)次期中期計画(平成 28(2016)年度～平成 32(2020)年度)を策定しました。
- (5)労務管理に対する職員意識を改革し、経営の健全化を図りました。